

# 医療安全認定臨床コミュニケーター

## 実習研修 2020 基礎編

— 臨床コミュニケーション実習（第10回） —

医療事故予防のための臨床コミュニケーションの基礎

事前配布資料

会期 2020年7月27日(月)～28日(火)

会場 インターネット講習会

主催 国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局 国際医療リスクマネジメント学会本部

(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(電子メール) [head.office01@iarmm.org](mailto:head.office01@iarmm.org)

(Tel/Fax) 03-3817-6770

## (参加者への注意)

- 1) テキストは電子媒体として講演会の数日前に電子メールにてお届けします。
- 2) 受講修了証および領収書は講演会後に郵送します。

通信設定開始時間：7月27日午前9時

7月28日午前8時30分

本プログラムで使用した資料は知的財産保護法の対象です。

- (1) 本プログラムの受講者のみが、学会認定「医療安全認定臨床コミュニケーター(基礎)」の検定試験を受講する資格を有します。
- (2) 本プログラムは、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

課題実習でグループ分けをする場合(石橋講師の分)では、課題が開始したら、事前に振り分けられたグループ番号の ZOOM 枠に、入ってください。

# プログラム

(第1日目) 2020年7月27日(月) 午前9時50分～午後5時

午前9時 通信設定開始

午前10時～午前12時 (講義1) 医療事故の原因としてのコミュニケーションバイアス  
酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時 (講義2・実習) 臨床安全におけるコミュニケーションの基礎  
井手口 直子 (帝京平成大学薬学部教授)

(内容) 講師は薬剤分野でのコミュニケーション能力の向上に関する様々な研究活動を行っており、その成果を踏まえた講義と実習が行われます。

午後2時～午後2時10分 休憩

午後2時10分～午後4時 (講義3) 患者支援センターから見た患者対応のあり方  
西隈 菜穂子 (近畿大学医学部附属病院 患者支援センター 患者支援センター長)

午後4時 第1日目閉会

**(第2日目) 2020年7月28日(火) 午前9時～午後3時**

午前8時30分 通信設定開始

午前9時～午前12時 **(講義4・実習) 医療安全のためのコミュニケーション技術**

新村 美佐香 (横浜病院グループ医療安全推進部長、菊名記念病院医療安全管理室室長)

(内容) 米国の医療安全分野では医療事故防止のための様々なコミュニケーション技術が開発されており、その主たる方法を解説します。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時 **(講義5) 安全のためのチームによるコミュニケーションのあり方**

石橋 明 (安全マネジメント研究所所長)

(概要) 講師は航空会社でクルーリソースマネジメント(CRM)を長年携わってきました。CRMの中心はチーム作業での良好なコミュニケーションによる安全促進です。これは今世界の航空業界のスタンダードになっています。先生はこの経験からチーム医療での応用をお話しいただけます。

午後3時 全体閉会